# そうだ！田舎にくらそう

2016.

2月

元・川西町地域おこし協力隊の6年後のお話。
企画・構成・文・撮影etc…全部　：　塗貴旭
イラストモデル　：　チャッピー（元・小方家）

## 「田舎暮らし」それはよそ者だけが抱く幻想!?」

どうもっし！元川西町地域おこし協力隊の塗です。いつも、この新聞を書くのが締め切り直前になってしまい悲しいものがあります。毎日、何書こうか考えてるんですが。。。

先日、家の前の雪山を眺めていたら、僕が初めて山形に来たときのことを思い出しました。吉島の空き家に住んでいた1年間。「田舎暮らしとは？」という全てを学んだ気がします。

「田舎でのんびり一人暮らし」という幻想を抱いて、やってきた川西町は、全然、のんびりしていませんでした（笑）地域活動なるものがあり、町おこしなるものがあり、近所づきあいがあり、都会暮らしより忙しかった気がします。全てがはじめてのことで、何が好きなのか嫌いなのか？向いているのかいないのか？わからないことだらけでした。

なぜ、こんな5年も前のことを覚えているのか？それは、僕にとって田舎暮らしは「2度目の人生スタート」だったからです。

「人生は1度きり、好きなことをやればいい」というのは一理あります。しかし、この5年ほどで、人は環境が変われば、人が変わることを学びました。その人というのは僕のことです。

都会暮らしをしていたら、僕には「田舎」ほど遠い存在はありません。都会が好きというわけではなく、縁がないのです。しかし、無理やりにでも道をこじ開けないと開かれない道。それが、田舎だったのです。

せめて、農業や自然に興味があり、将来について明るく考えられればよかった。でも、それすらないのに、僕は田舎にやってきました。だから、1から振り出し、第二の人生なのです。

（つづく　↓）

人というのは、それぞれ違う生き物ですが、なぜ違うのかといえば、自分で考えて行動するからです。良い事も悪い事も、自分が考えて行動した結果です。趣向性というか、その人のベクトルは逆を向きません。だから、自分を偽るように、逆向きのベクトルに立ち向かうことは骨の折れることで、意思に逆らうような気がします。まるで、違う自分を生きているから、第二の人生なんです。

吉島で暮らした1年間。3年いなかったのは「地域に馴染めないから」と地区民の8割の人が思っているらしいです（笑）一人で空き家を管理するのが大変だったこと、一軒家に憧れがなかったこと、トイレが水洗じゃなかったこと、電気が20Aまでしかなくエアコンが使えなかったこと、いつも誰かに見張られてる気がして疲れたこと、ひとり言が増えたこと、何で田舎にいるのかわからなくなって1日中、天井の柄を見上げていたこと、食欲がなくてバナナとソーセージしか食べなかったこと、何かイライラして家を踏みつけるように歩いていたこと、ストレスかなんかでお腹がいつも痛いこと。もはや、立派な病人ではあります。しかし、自分が勝手にそうしているだけで、地域のせいというわけではないのです。結論からすれば、何が何だかわからなかったのです。

家に帰ると話しかけてくる隣の黒沢さん。置賜弁の修行には最高でした。色々と気にかけてくれた島貫さん一家。特におばあさんに関しては、お茶のみでヤクルト買ってくれ、島貫家の誰よりも早く夕飯をごちそうになる日もありました。斜め向かいの梅津さん。家賃を払ったほうがいいくらい泊まりました。初いも煮もここです。

このような経験をして、田舎暮らしをあらためて考えてみると、異なる環境で暮らすことは、逆向きのベクトルの中で暮らすこと。第二の人生を見つけるためには必要な時間。それは、新しい自分を作り出すこと。これが、今のところ僕の考えです。

---

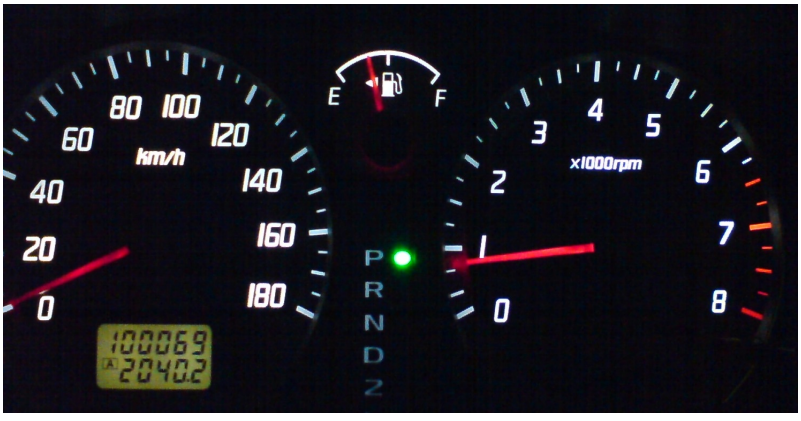
こういう奥ゆきを見ると、
東京を思い出す。
米沢だけど。

## 思ったことは書いておくコーナー

Since 2016.1へ

ネットで壊れているMTRを買った。楽器を録音するものです。カセットだけど元箱に10万と書いてあった。それを700円で買うという。プラのギヤが粉々だった（笑）ギヤさえあれば直りそう。部品はもうないので、3Dプリンタで作る予定。今はCADの勉強中。（3D作成ソフト）これがうまくいったら古い機械も直せそうだな。

最近、ギターを習いたいという人が来た。
青年は真面目な感じだった。
一方、息子にやらせたいという奥さんは、連絡はとれて、資料送ったけど、その後はどうなったんだろう？
ギターうんぬんの前に、何かレスポンスあってもいい気がする。
もう慣れてるからいいけど。
母親がギター習わせたいなんて、今どきですな！と思ったけど、クラシックギターか！ジミヘン目指してたわけじゃないのかー。ロックやりだすと学校行かなくなりそうだしな。賢明なり。




車が10万キロを超えた。
8万キロで買った時は、まったく気に入らなかったが、2万キロくらい乗ったら、まあまあ、気に入った。
昔のアテンザとシビックは曲線美。実物のほうが全然良い。
車にお金をかけるつもりはないが、子供の頃からあこがれてた車という存在が、経済的事情とかで夢がなくなるのは悲しい。
買えないわけではないけど、買って、乗って満たされるものは何だろう？模型で十分なのか？